

景況調査

平成29年10月～12月期の
守山企業景況調査の結果は、
次の通りである。調査結果は
DI指数(景気動向指数)を用
いて示している。

平成29年10月～12月期の
調査結果では、業況、売上高、
採算、資金繰りの4指標の全
てで上昇した。

〈業況〉

業況DIは▲3.4で前回調査
の▲6.5から3.1ポイント上昇し
た。業種別では、小売業0.0(前
回調査比+29.4)、製造業10.0(前
回調査比▲6.7)、建設業0.0(前
回調査比+9.1)、サービス業
▲23.5(前回調査比▲23.5)、卸
売業20.0(前回調査比+20.0)と
小売業、建設業、卸売業が上
昇した。

1月～3月期見通しは全
体で▲5.1であり、低下の見込
である。

〈売上高〉

売上高DIは13.3で前回調査
より21.4ポイント上昇した。業

(平成29年10月～平成29年12月期)

種別では、小売業6.3(前回調
査比+29.8)、製造業45.5(前回
調査比+12.2)、建設業0.0(前
回調査比+9.1)、サービス業
▲5.9(前回調査比+11.7)、卸
売業60.0(前回調査比+80.0)で
あり、全ての業種で上昇した。
1月～3月期見通しは全
体で6.8となっており、低下の
見込である。

〈採算(経常利益)〉

採算(経常利益)DIは▲5.1
で前回調査より12.6ポイント上
昇した。業種別では、小売業
0.0(前回調査比+35.3)、製造
業18.2(前回調査比+9.9)、建
設業▲9.1(前回調査比±0.0)、
サービス業▲29.4(前回調査比
±0.0)、卸売業20.0(前回調査
比+20.0)で小売業、製造業、
卸売業が上昇し、建設業、サー
ビス業が横ばいであった。
1月～3月期見通しは全
体で▲15.3であり低下の見通し
である。

〈資金繰り〉

資金繰りDIは8.8で前回調
査から29.9ポイント上昇した。
業種別では小売業18.8(前回調
査比+48.2)、製造業10.0(前回
調査比+10.0)、建設業18.2(前
回調査比+54.6)、サービス業
▲6.7(前回調査比+14.7)、卸
売業0.0(前回調査比±0.0)で
あった。

1月～3月期見通しは全
体で5.4であり、今回調査実績
から低下している。

〈その他の意見〉

・若い人材の確保難が業界
内で顕著になっていきます。
・零細企業だからできるこ
とをもっと発信したいと
考えます。
・大手企業の生産、営業など
AIの導入により、今後10
年で減ったりなくなつた
りする職種が出てくるそ
うで、所得の格差が益々
拡がる気がします。
・社会構造の変化で売れない
ものが増えていく。全く
新しいサービス業に転換
するしか今の商店にはな
いのかも知れない。

